

「東京医科歯科大学献体の会」会員ならびにご関係の皆さまへ

臨床解剖学分野では、以下の研究を行っております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

研究課題名：骨盤底の筋および周囲構造に関する解剖研究

東京医科歯科大学医学部倫理委員会承認番号：第 M2018-006 番

データ収集期間：医学部倫理審査委員会承認後から平成 32 年 3 月 31 日まで

研究目的：

骨盤底を構成する筋は骨盤内の臓器（膀胱、子宮、直腸など）を支えています。この支持構造が破綻することが、臓器脱（膀胱脱、子宮脱、直腸脱）の一因であると考えられています。骨盤底の支持機構には、複雑な層構造を持つ横紋筋、平滑筋、そして筋膜構造が関係していると考えられていますが、その構造は未だ十分に明らかになっていません。

また、近年内視鏡手術の発展が目覚ましく、骨盤内臓器を扱う手術（前立腺癌、子宮頸癌、直腸癌に対する手術）でも内視鏡下手術が広く行われるようになってきました。骨盤底の構造の詳細が明らかになれば、そういった手術の更なる発展に貢献できると考えます。

本研究の目的は、骨盤底を構成する組織構造を明らかにし、臓器脱や尿失禁の病態解明の一助とすると同時に、前立腺癌や直腸癌に対する手術の発展に寄与する解剖学的基盤を構築することです。

研究の対象：

本研究で用いる解剖体は、すべて生前に「東京医科歯科大学献体の会」に入会された方のご遺体です。その尊いご遺志に深く感謝するとともに、医学、歯学の教育ならびに研究に用いるという献体法（医学及び歯学の教育のために献体に関する法律）ならびに死体解剖保存法の精神を遵守して行って参ります。また、研究の実施に当たっては、日本解剖学会が定めた「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」に従って行います。

研究の内容：

本学臨床解剖学講座にて保存されている解剖体を用いて、骨盤底の横紋筋の筋束および支配神経を観察します。組織標本を作製し、平滑筋の広がり調査します。染色方法としてはEVG染色、Masson Trichrome染色に加え、抗平滑筋抗体、抗横紋筋抗体を用いた免疫染色を行い、平滑筋と横紋筋を明確に検出します。この研究が骨盤底の支持機構の解明に繋がり、臓器脱、尿失禁の病態解明、そして治療へ繋がる基盤となると考えています。また、本研究が提供する解剖学的知見が、前立腺癌、子宮頸癌、直腸癌に対する手術の根治性向上、および術後の機能温存を目指した手術の発展に貢献できると考えています。

この研究により一定の成果がえられた場合には、その結果を学会や論文で発表しますが、写真閲覧時に匿名化を行い、解剖体の個人を特定できる情報は使用いたしません。登録解剖体の同定や照会は、登録時に発行される登録番号を用いて行います。登録にあたっては、識別番号を設定します。参照した画像等は、匿名化の後、臨床解剖学医局にて10年間厳重に保管し、研究終了後に適切に扱わせていただきます。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、医学部臨床研究利益相反委員会に申告を行い、承認されています。またデータを二次的に利用する場合は新たな研究計画を立案し医学部倫理審査委員会で承認された後、改めてHP上でお知らせいたします。

なお、本研究に関してお問い合わせのある場合、下記宛先までご連絡ください。また、研究の途中であっても、解剖体の使用あるいは得られたデータの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外します。その場合にも故人および関係者の皆様の不利益となることは一切ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。

研究責任者：東京医科歯科大学大学院 臨床解剖学分野 秋田恵一

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5390（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

苦情・相談窓口：

東京医科歯科大学医学部総務掛

電話：03-5803-5096（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）